

八王子市

デジタル・
トランスフォーメーション **DX** 推進計画

【(素案) 概要版】

令和8年度(2026年度)～令和9年度(2027年度)

1 計画の概要

DXとは

デジタル技術の浸透によって人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させることを指します。また、デジタル技術やデータを活用し、市民の視点に立って行政サービスを変革することで、新たな価値を創出する取組です。

DX推進計画 策定の目的

今後、急速な人口減少が見込まれる中、八王子市が行政サービスを持続可能な形で提供していくためには、デジタル技術やデータを活用が必要です。具体的には次の視点が重要です。

- ・市民の利便性向上
- ・業務の効率化による人的資源の有効活用

本計画は、ビジョンや取組を市民や職員と共有し、計画的かつ効果的にDXを推進することを目的に策定するものです。

前計画からの 改定のポイント

前計画の「ビジョン」と「基本方針」を普遍的なものとして継承します。また、具体的な事業及び目標値等を示すアクションプランは、本計画に統合し、内容を次のポイントにより、分かりやすく改定します。

- ・各基本方針の相乗効果を起こすための施策の見直し
- ・重点施策を新たに設定
- ・基本方針に基づき、現状に合わせた取組に最適化

計画期間

令和8年度（2026年度）から令和9年度（2027年度）まで

2 計画の位置付け

本計画は、八王子未来デザイン2040に掲げる「市民満足度を高めるサービスの提供」の実現をデジタル化の取組により、推進していくものです。

- 自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画（総務省）」に対応しています。
- 官民データ活用推進基本法第9条第3項に基づき、市町村の努力義務として策定する「市町村官民データ活用推進計画」として位置付けます。
- 取組については、八王子市経営計画や各年度の予算と整合を図った上で推進します。



3 計画のビジョン

デジタル技術の活用により
人と人のつながりを深め、
地域共生社会を実現する
～時間や場所の制約を超えて、社会を豊かに～

【ビジョンの背景】

- ・ 持続可能な地域づくりを進めるため、本市の特徴・強みである「市民力・地域力」をデジタル技術の活用によって支えていく必要があること
- ・ デジタル技術の活用に当たり、単に利便性の向上を図るだけではなく、距離・時間・言葉の壁を取り払い、人と人のつながりを深めていくことで、誰一人取り残されることなく地域の中で支えあい、豊かな暮らしを実現していくという視点が重要であること

4 ビジョン達成のための基本方針

基本方針に基づく取組効果の循環により、**CX(市民満足度)**と**EX(職員のやりがい)**を高めます。

基本方針1 生活の質の向上 市民視点の人にやさしいDX

手続のオンライン化の推進により、行政手続にかかる市民の負担を軽減し、市民の利便性を向上させます。また、デジタル技術やデータを活用し、対面・非対面の対応を組み合わせ、市民との接点の多様化・充実化を図り、市民視点の人にやさしいDXを推進します。

基本方針2 地域課題の解消 DXによる安心で活力あるまちづくり

本市には、自然環境・歴史・文化などの豊かな資源があります。また、交通の要衝であるとともに、技術力のある企業や21の大学等が所在しています。企業が有するノウハウや技術力と市内大学が有する知的財産や人財を集積し、相互につなぐことで、新たな事業の創出や学術研究の充実、観光資源の有効活用によるまちの活性化を図ります。

CX向上 → **EX向上** → **CX向上**

創出したリソースで
高付加価値業務に取り組む

基本方針3 行政の業務刷新 地域・現場から考える組織に

人口減少と少子高齢化が進むなか、限りある経営資源で、持続可能な行政サービスを提供し続けていくため、業務環境・基盤を整備します。また、AI等の活用により、業務の自動化・省力化を図り、職員がより市民・地域に向き合うことができる環境を整えます。

5 重点施策と取組

本計画では、3つの重点施策を掲げ、基本方針のもと、取組を推進し、ビジョンの達成します。

ビジョン

デジタル技術の活用により人と人のつながりを深め、地域共生社会を実現する
～時間や場所の制約を超えて、社会を豊かに～

基本方針1 生活の質の向上

基本方針2 地域課題の解消

基本方針3 行政の業務刷新

重点施策1 フロントヤード改革の推進

- 取組1 手続のオンライン化
- 取組2 マイナンバーカードの活用推進

重点施策2 AIの活用推進

- 取組5 AIの活用による交通の充実

- 取組3 誰一人取り残されないデジタル化

- 取組4 標準化・バックヤード改革

重点施策3 環境・基盤の整備

- 取組8 公金収納におけるeL-QRの活用

- 取組9 防災対策

- 取組7 AIの活用による業務の生産性向上

- 取組10 生産性を向上させるネットワークの整備
- 取組11 コミュニケーションの活性化
- 取組12 共通化・共同化

八王子市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画(素案) についての意見募集(パブリックコメント)のご案内

八王子市では、計画的かつ効果的にDXを推進することを目的に「八王子市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」(以下「計画」という。)を令和4年(2022年)2月に策定し、取組を推進しています。

このたび、社会情勢の変化や国の動向を踏まえて、前計画を継承しつつ、新たな視点を盛り込んだ次期計画(計画期間:令和8年度(2026年度)～令和9年度(2027年度))の素案をまとめました。

つきましては、市民の皆様のご意見を計画に反映するため、素案に対する意見を募集しますので、是非多くのご意見をお寄せください。

1 対象

市内在住・在勤・在学の方、または市内に事務所・事業所を有する個人及び法人、その他の団体

2 募集期間

令和7年(2025年)12月15日(月)から令和8年(2026年)1月15日(木)まで

3 素案の閲覧

(1) 市のホームページ 下記URLまたは右記二次元コードから閲覧してください。

URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/tantoumadoguchi/002/003/p030442.html>

(2) 以下の閲覧場所

市役所本庁舎4階デジタル推進課・1階市政資料室、市民部各事務所、各市民センター、各図書館



4 意見の提出方法

提出方法	宛先等	受付期限
オンライン フォーム	以下のURLまたは二次元コードから入力してください。 https://logoform.jp/form/iapr/1326637 	令和8年(2026年) 1月15日(木) 午後11時59分まで
メール	b411900@city.hachioji.tokyo.jp ※件名は「八王子市DX推進計画(素案)について」としてください。	
FAX	042-627-5939	
窓口	八王子市役所 本庁舎4階 デジタル推進課 ※受付時間:平日午前8時30分から午後5時15分まで	令和8年(2026年) 1月15日(木) 午後5時15分まで
郵送	〒192-8501 八王子市元本郷町3-24-1 八王子市 総合経営部 デジタル推進課 DX推進計画担当宛	令和8年(2026年) 1月15日(木)必着

- ・意見の提出に当たっては、別添「パブリックコメント意見書」に示す項目を、全て記載してください。
- ・寄せられたご意見については、意見の概要と市の考え方とを合わせて公表します。
- ・ご記入いただいた個人情報は、このパブリックコメント以外の目的には使用しません。（個人情報は、公表しません。）
- ・ご意見について個別の回答はいたしません。
- ・電話・窓口での口頭によるご意見はお受けできません。
- ・公序良俗に反するもの、特定の団体・個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします。

5 問合せ先 八王子市 総合経営部 デジタル推進課 (電話:042-649-6044)